



平成25年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年8月8日

上場会社名 株式会社ヒガシマル 上場取引所 福  
 コード番号 2058 URL <http://www.k-higashimaru.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 東 紘一郎  
 問合せ先責任者 (役職名) 管理部長 (氏名) 木通 昌生 (TEL) 099-273-3859  
 四半期報告書提出予定日 平成24年8月10日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年3月期第1四半期の連結業績(平成24年4月1日~平成24年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第1四半期	1,632	△11.9	△2	—	33	—	31	—
24年3月期第1四半期	1,853	4.6	32	—	0	—	△25	—

(注) 包括利益 25年3月期第1四半期 △8百万円(—%) 24年3月期第1四半期 3百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年3月期第1四半期	6.70	—
24年3月期第1四半期	△5.42	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
25年3月期第1四半期	8,571	4,427	51.7
24年3月期	8,422	4,473	53.1

(参考) 自己資本 25年3月期第1四半期 4,427百万円 24年3月期 4,473百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年3月期	—	0.00	—	8.00	8.00
25年3月期	—	—	—	—	—
25年3月期(予想)	—	0.00	—	8.00	8.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成25年3月期の連結業績予想(平成24年4月1日~平成25年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	4,455	△5.7	93	△21.5	92	38.2	115	—	24.55
通期	8,499	△2.2	162	168.0	160	—	187	26.3	39.84

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無  
 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)  
 新規 一社(社名) 、除外 一社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	25年3月期1Q	4,746,000株	24年3月期	4,746,000株
② 期末自己株式数	25年3月期1Q	40,842株	24年3月期	40,842株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	25年3月期1Q	4,705,158株	24年3月期1Q	4,705,158株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績予想につきましては、現時点で入手可能な情報に基づき判断したものであり、実際の業績は今後の様々な要因により予想数値と異なる可能性があります。なお、上記予想に関する事項は、四半期決算短信[添付資料]3ページ、「(3) 連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	6
四半期連結包括利益計算書	7
(3) 継続企業の前提に関する注記	8
(4) セグメント情報等	8
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	8
(6) 重要な後発事象	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、東日本大震災からの復興需要やエコカー補助金等の政策効果などに支えられ、国内需要を中心に景気持ち直しの動きが見られました。しかしながら、電力供給の制約や原子力災害の影響に加え、欧州の債務問題などを背景とした海外経済の減速や長引く円高の影響などから、景気回復基調への不透明感が残る状況となりました。

このような状況のなか、当社グループを取り巻く状況は、先進国の経済停滞や減速はアジア新興国まで波及してきた印象を与えているものの、当社が主原料とする魚粉等のマーケットにおいては、アジア各国から継続的な引き合いが強く、中でも中国の輸入量の増大の影響から、魚粉価格の高騰が続いている状況であります。

こうした環境の下、水産事業では、養魚用配合飼料及び養殖用稚魚の販売量が減少し、食品事業では、昨年の震災後の一時的な品薄に対する特殊需要がなくなったことの影響を受け即席めん類が減少した結果、売上高は16億32百万円と前年同四半期と比べ2億20百万円(11.9%)の減収となりました。

損益面につきましては、材料費及び経費の圧縮が厳しい状況のなか、売上高の減収の影響を受け、営業損失2百万円(前年同四半期は32百万円の利益)となりました。為替差益の発生により経常利益は33百万円、四半期純利益は31百万円(前年同四半期は25百万円の損失)となりました。

なお、養魚用配合飼料の需要は、養殖魚の成長過程に応じ、摂餌が旺盛になる夏から初冬までが多く、水温が低下し餌食いが鈍くなる冬から春は少なくなるという季節的変動があります。したがって、当第1四半期連結会計期間の売上高は、第2四半期連結会計期間及び第3四半期連結会計期間と比べ低くなる傾向にあります。

セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

#### ①水産事業

水産事業におきましては、クルマエビ夏場市場向けの取引価格は安定しており、取引先への販売も好調に推移したことから、エビ飼料類は増加となりましたが、ハマチ飼料類の大口取引及び受託生産販売が減少したほか、マダイ飼料類などが減少した結果、売上高は12億14百万円と前年同四半期と比べ1億33百万円(9.9%)の減収となりました。

セグメント利益は、為替差益の発生により65百万円(前年同四半期は39百万円の損失)と前年同四半期と比べ1億5百万円の増益となりました。

#### ②食品事業

食品事業におきましては、ドラッグストアやコンビニエンスストアの食料品販売強化で、大手スーパーの価格競争も激化している状況のなか、原発事故による食品の放射能汚染の懸念から様々な商品・サービスに対する安全・安心の社会的ニーズが高まっております。

このような状況のなか、品質管理の強化を図るとともに、差別化商品の開発にも力を入れ、今年4月に「海鮮皿うどん」、「ラー麺サラダ」、「つけ麺魚介豚骨」を発売いたしました。昨年の震災後の特殊需要がなくなった関係から即席めん類が減少したほか、プライベートブランド商品の皿うどん類などが減少した結果、売上高は4億17百万円と前年同四半期と比べ86百万円(17.2%)の減収となりました。

セグメント利益は、12百万円と前年同四半期と比べ63百万円(83.8%)の減益となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第1四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末と比べ1億49百万円増加し、85億71百万円となりました。これは、主として現金及び預金が1億87百万円減少したものの、受取手形及び売掛金が1億47百万円、商品及び製品が47百万円、原材料及び貯蔵品が49百万円、機械装置及び運搬具が74百万円増加したことなどによるものであります。

負債は、前連結会計年度末と比べ1億95百万円増加し、41億43百万円となりました。これは、主として事業整理損失引当金が1億42百万円、長期借入金が71百万円、役員退職慰労引当金が70百万円減少し、買掛金が2億55百万円、短期借入金が2億20百万円増加したことなどによるものであります。

純資産は、前連結会計年度末と比べ46百万円減少し、44億27百万円となりました。これは、利益剰余金が6百万円減少したことに加え、為替換算調整勘定が21百万円、繰延ヘッジ損益が9百万円、その他有価証券評価差額金が9百万円減少したことによるものであります。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

今後の見通しにつきましては、当社グループの売上高は、第1四半期連結会計期間より第2四半期連結会計期間及び第3四半期連結会計期間の割合が高くなる季節的変動があり、また、平成24年7月31日に取得したコスモ食品株式会社の業績予想についても現在精査中であることから、当初の業績予想を修正しておりません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更)

当社及び連結子会社は、法人税法の改正に伴い、当第1四半期連結会計期間から、平成24年4月1日以後に取得した有形固定資産については、改正後の法人税法に基づく減価償却の方法に変更しております。なお、この変更による影響は軽微であります。

3. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成24年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,240,330	1,052,560
受取手形及び売掛金	1,301,720	1,449,473
商品及び製品	354,830	402,709
仕掛品	69,089	60,802
原材料及び貯蔵品	744,884	794,408
その他	325,299	370,815
貸倒引当金	△16,137	△16,783
流動資産合計	4,020,018	4,113,986
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	1,127,582	1,110,670
機械装置及び運搬具（純額）	629,930	704,418
土地	1,763,746	1,763,746
その他（純額）	57,924	45,788
有形固定資産合計	3,579,184	3,624,623
無形固定資産	39,208	36,684
投資その他の資産		
投資その他の資産	827,571	839,728
貸倒引当金	△43,813	△43,813
投資その他の資産合計	783,757	795,914
固定資産合計	4,402,149	4,457,222
資産合計	8,422,167	8,571,208

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成24年6月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	344,810	599,870
短期借入金	1,304,000	1,524,000
未払法人税等	40,176	2,191
賞与引当金	71,518	45,723
事業整理損失引当金	142,934	—
その他	522,082	577,927
流動負債合計	2,425,522	2,749,713
固定負債		
長期借入金	782,000	711,000
退職給付引当金	39,920	40,739
役員退職慰労引当金	446,416	375,529
その他	254,491	266,700
固定負債合計	1,522,827	1,393,968
負債合計	3,948,349	4,143,682
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	603,900	603,900
資本剰余金	458,400	458,400
利益剰余金	3,579,656	3,573,517
自己株式	△28,938	△28,938
株主資本合計	4,613,017	4,606,879
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	17,654	8,046
繰延ヘッジ損益	△175,212	△184,467
為替換算調整勘定	18,358	△2,931
その他の包括利益累計額合計	△139,199	△179,352
純資産合計	4,473,817	4,427,526
負債純資産合計	8,422,167	8,571,208

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 四半期連結損益計算書  
 第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)
売上高	1,853,270	1,632,318
売上原価	1,547,337	1,357,843
売上総利益	305,932	274,474
販売費及び一般管理費		
運賃諸掛	81,289	75,283
給料及び賞与	61,383	60,453
賞与引当金繰入額	△6,203	14,913
役員退職慰労引当金繰入額	3,590	1,863
その他	133,844	124,931
販売費及び一般管理費合計	273,903	277,445
営業利益又は営業損失(△)	32,029	△2,971
営業外収益		
受取利息	259	64
受取配当金	1,716	1,325
為替差益	—	37,269
役員退職慰労引当金戻入額	40,618	—
雑収入	5,213	11,550
営業外収益合計	47,807	50,209
営業外費用		
支払利息	6,338	6,683
為替差損	72,224	—
雑損失	311	7,476
営業外費用合計	78,874	14,159
経常利益	962	33,078
特別利益		
補助金収入	3,142	—
特別利益合計	3,142	—
特別損失		
固定資産除却損	97	—
特別損失合計	97	—
税金等調整前四半期純利益	4,007	33,078
法人税、住民税及び事業税	13,811	1,038
法人税等調整額	15,716	537
法人税等合計	29,528	1,575
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△25,520	31,502
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△25,520	31,502



四半期連結包括利益計算書  
第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△25,520	31,502
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△2,256	△9,608
繰延ヘッジ損益	△13,265	△9,254
為替換算調整勘定	44,578	△21,289
その他の包括利益合計	29,057	△40,152
四半期包括利益	3,536	△8,650
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	3,536	△8,650
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 継続企業の前提に関する注記

当第1四半期連結累計期間(自 平成24年4月1日 至 平成24年6月30日)

該当事項はありません。

(4) セグメント情報等

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自 平成23年4月1日 至 平成23年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント		合計	調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	水産事業	食品事業			
売上高					
外部顧客への売上高	1,348,811	504,459	1,853,270	—	1,853,270
セグメント利益	△39,278	76,023	36,745	△35,783	962

(注)1 セグメント利益の調整額△35,783千円は、各報告セグメントに帰属しない全社費用等であり、提出会社の管理部門に係る販売費及び一般管理費42,927千円、営業外収益30,400千円、営業外費用23,257千円であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の経常利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第1四半期連結累計期間(自 平成24年4月1日 至 平成24年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント		合計	調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	水産事業	食品事業			
売上高					
外部顧客への売上高	1,214,827	417,490	1,632,318	—	1,632,318
セグメント利益	65,829	12,287	78,117	△45,038	33,078

(注)1 セグメント利益の調整額△45,038千円は、各報告セグメントに帰属しない全社費用等であり、提出会社の管理部門に係る販売費及び一般管理費45,444千円、営業外収益7,539千円、営業外費用7,133千円であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の経常利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

当第1四半期連結累計期間(自 平成24年4月1日 至 平成24年6月30日)

該当事項はありません。

(6) 重要な後発事象

連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得

当社は、平成24年7月17日開催の取締役会決議及び同日付けで締結した株式譲渡契約に基づき、平成24年7月31日付けでコスモ食品株式会社の株式を取得し、同社を連結子会社といたしました。

取得による企業結合

(1) 企業結合の概要

①被取得企業の名称及びその事業の内容

被取得企業の名称 コスモ食品株式会社

事業の内容 カレールー・ジャム製造販売及び調味料製造販売

なお、被取得企業の株式取得に伴い同社の100%子会社であるコスモファーム株式会社、コスモ食品研究株式会社、イワキフーズ株式会社、津軽和漢堂株式会社及び弘前屋株式会社の5社についても当社の子会社となります。

②企業結合を行った主な理由

当社にない商品の品揃え、新商品の拡充及び新規取引先の販路拡大による相乗効果を発揮することができ、食品事業における企業価値の向上を図るとともに、本件株式の取得により新たに加わる商品開発力及び販売チャネルは、より多くのお客さまに高付加価値の商品・サービスを提供していくという目的に資すると判断したことによるものであります。

③企業結合日

平成24年7月31日

なお、第2四半期連結会計期間末（平成24年9月30日）を支配獲得日とみなし、処理いたします。

④企業結合の法的形式

現金を対価とする全株式の取得

⑤結合後企業の名称

名称の変更はありません

⑥取得した議決権比率

100%

⑦取得企業を決定するに至った主な根拠

現金を対価とした株式取得により、当社が同社の議決権の100%を取得し支配を獲得するに至ったことによるものであります。

(2) 被取得企業の取得原価及びその内訳

取得の対価	コスモ食品株式会社の普通株式	2,200,000千円
取得に直接要した費用	アドバイザー費用等	111,510
取得原価		2,311,510

(3) 資金調達の方法等

所要資金につきましては、借入金により賄っております。借入金の内容は以下のとおりであります。

借入先	借入金額(千円)	借入日	返済方法	返済期日	担保
三井住友銀行	1,200,000	平成24年7月30日	期日一括	平成24年8月30日	無
鹿児島銀行	700,000	平成24年7月30日	期日一括	平成24年8月30日	無
福岡銀行	500,000	平成24年7月30日	期日一括	平成24年8月30日	無
みずほ銀行	100,000	平成24年7月30日	期日一括	平成24年8月30日	無
三菱東京UFJ銀行	100,000	平成24年7月30日	期日一括	平成24年8月30日	無